

## 平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

「誠実明朗」「自主創造」「友情協力」の校訓のもと、明るく健康で、自らを高め、他人を尊重する、人間性豊かな人格の完成をめざす。生徒と教職員との信頼関係をもとにした専門教育を通じて、勤労と責任を重んじ、幅広い技術をそなえた社会人を育成する。

1. 基礎学力と専門的な技能・技術を修得し、社会の中で主体的に生きる力を育てる。
2. 協調性、規範意識を身につけ、周囲から求められる社会人を育てる。
3. 地域社会での存在意義を高め、生徒が誇りをもてる学校づくり。

## 2 中期的目標

1. 社会の中で主体的に生きる力を育てる。
  - (1) 基礎的・基本的な学力の育成
    - ア 授業での ICT 活用を進め、基礎学力の充実を図る。
    - イ 授業改善を図るとともに、授業内容・授業形態の工夫により、確かな学力を身につけさせる。
 ※生徒向け学校教育自己診断における授業に関する満足度 (平成 29 年度 80.3%、平成 30 年度 83.0%)
  - (2) 資格取得を学習の核に据え、主体的に自己の将来を切り拓く能力を育成
    - ア 授業においても技能・資格取得を勧め、学習意欲の喚起と、有用な技能修得を図る。
 ※平成 31 年度には卒業生徒の資格取得率 100% (一人一つ以上) を目標とする。 (平成 29 年度 70.0% / 平成 30 年度 94.1%)
  - (3) 在学中の就労を促進するとともに、生徒のニーズにあった進路実現をサポート
    - ア 未就労生徒に対し、個別指導と個別支援による就労促進を行う。
    - イ キャリア教育、職業教育を充実させ、社会で自立できる力を育成する。
    - ウ 自己の個性や適性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成する。
 ※学校斡旋就職を希望する生徒を支援し、正規就職希望者 80%以上、就職内定率 100%を目標とする。  
(正規就職希望者 平成 29 年度 93%、平成 30 年度 93.3% / 就職内定率 平成 29 年度 100%、平成 30 年度 100%)
2. 周囲から尊敬される社会人を育てる。
  - (1) 授業規律の確立
    - ア 組織的な指導体制を確立し、良好な環境と授業規律の確立を図る。
 ※良好な学習環境を実現し、生徒向け学校教育自己診断肯定率を毎年 5%以上の向上を目標とし、平成 31 年度には 80%以上にする。  
(平成 29 年度 69.2%、平成 30 年度 77.5%)
  - (2) 協調性や社会性の育成
    - ア 魅力ある学校行事、部活動を振興し、学校生活の魅力を高め、集団活動への参加促進を図る。
 ※出席率の大幅改善と平成 31 年度には 1 年次生の進級率 70%以上を目標にする。 (平成 29 年度 47.4%、平成 30 年度 92.3%)
3. 誇りをもてる学校づくり
  - (1) 地域連携を進め、学校への高い評価を獲得
    - ア 生徒による地域活動の実施、公開講座の実施など、地域から見える、特色ある学校の取組みを推進する。
 ※保護者向け学校教育自己診断において、本校の特色ある取組みについての肯定率 80%以上を維持する。  
(平成 29 年度 85.7%、平成 30 年度 91.7%)
  - (2) 広報活動の充実により、学校の取組みを広く周知
    - ア 学校ホームページの充実、地域自治会での広報などを積極的に展開する。
 ※公開講座、学校見学会等への参加者を、平成 31 年度には年間延べ 50 名以上とする。 (平成 29 年度 45 名、平成 30 年度 54 名)
  - (3) 人材育成により、優れた教育環境の提供
    - ア 生徒のニーズに合致した特色ある教育課程と優れた指導体制づくり。
 ※教育課程の改革と意欲的な指導体制の確立
4. 働き方改革への取組み
  - (1) 各分掌・各委員会の会議の目的を明確化
    - ア 不必要な会議を減らすとともに、会議資料のデータ化、ICT を活用することで会議を効率的に行う。
  - (2) 定時退庁日、一斉休業日等を活用
    - ア 教職員の負担軽減・健康増進を図り、ストレスがなく働きやすい職場を実現する。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年 11 月実施分]	学校運営協議会からの意見
○学校教育自己診断について *肯定率(%)H29→H30→H31 「◎」「○」「△」は、数値または変化に対する学校の評価 1. 学校生活 ・この学校には他の学校にない特色がある 78.4→85, 7→67.5(△) ・授業はわかりやすく楽しい 72.7→81.0→81.8(○) ※少人数指導に対する満足度は高く推移している。 2. 学習指導 ・授業で自分の考えをまとめ発表する機会がある 63.6→54.8→63.1(○) ・教え方に工夫している先生が多い 86.3→73, 8→78.9(○) ・ビデオなどの視聴覚機器やコンピュータを使う機会がある 80.3→82.9→83.8(◎) ※授業改善、学力向上に対する成果が現れているが、生徒が主体的に授業に参加するよう、学校として取組みが必要。 3. 生徒指導 ・先生はお互いに協力し合い、責任をもって授業やその他の仕事に当たっている	令和元年 6 月 14 日 (第 1 回) ・授業規律の見直しについて、厳しくするばかりでは効果が期待できない。 ・在籍人数が減少しているが、少ないからこそきめ細かい指導を継続できている。 ・志願者数の減少について、規模が小さくなる程、指導が行き渡る強みがあることを、中学生・保護者に直接伝える機会を作る必要がある。また、HP 等の活用により、学校の様子を知らせる機会を増やすことを求める。HP で学校の楽しさを伝える「見える化」の工夫。  令和元年 11 月 22 日 (第 2 回) ・長欠者の状況把握を確実にしておく。 ・内科健診等で来校した際に、受け答えがしっかりできていると感じている。 ・在籍数は減少傾向であるが、少人数を生かした行き届いた指導となることを期待する。 ・授業アンケートは、項目全般にわたってみると、数値上昇ととらえられる。  令和 2 年 2 月 21 日 (第 3 回)

府立茨木工科高等学校 定時制の課程

<p>69.2→73.8→91.9(◎)</p> <p>※授業・行事において、教職員が一丸となって取り組むことができている。</p> <p>4. 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の進路や生き方について考える機会がある 76.9→82.5→79.0(○)</li> <li>・学校は、進路についての情報を提供している 81.2→81.0→83.8(◎)</li> </ul> <p>※キャリア教育を中心として進路指導、個々の生徒に応じた指導の成果が現れている。</p> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか知らされている。 72.3→75.6→86.5(◎)</li> <li>・【保護者】学校は保護者や地域の人が授業に参加する機会を設けている 61.1→66.7→83.4(◎)</li> <li>・【保護者】この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある 40.9→53.3→62.5(◎)</li> </ul> <p>※授業参観期間の設定、HPを活用した情報発信の効果が現れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H31年度 学校評価(案)の承認</li> <li>R2年度 学校経営家核「めざす学校像」「中期的目標」の承認</li> </ul> </li> <li>・今年度の報告に対して、指導事案が増えているが、取組みに対して評価をいただいた。</li> <li>・生徒数減少の中で、きめ細かく指導されていることが、生徒の成長に繋がっている。(新入生へのかかわりを丁寧に行ってください)</li> </ul>
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 社会の中で主体的に生きる力を育てる	<p>(1)基礎的・基本的な学力の育成 ア 授業で効果的なICT活用を推進し、基礎学力の充実</p> <p>(2)資格取得を学習の核に据え、主体的に自己の未来を切り拓く能力を育成 ア 授業においても技能・資格取得を勧め、学習意欲の喚起と、有用な技能の修得を図る。</p> <p>(3)正規就職の拡大 ア 個別指導と個別支援による就労指導</p>	<p>(1) ア①ICT機器の活用やアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実施し、授業改善を進める。また、教材の共有化を図り、各教員の授業準備等に係わる業務の負担軽減を行う。 ②授業において、確認テスト等を実施し、基礎学力の定着を目標とする。</p> <p>(2) ア①溶接技術、CAD、計算技術等、授業内容と関連した資格取得に関わる知識・技能の指導を充実させる。 ②資格取得をめざした講習・個別指導を実施し、生徒個別の支援を行う。</p> <p>(3) ア①キャリアコーディネータ等との連携による求人開拓、個別指導を継続的に強化し、卒業時に正規就職できるよう支援を行う。</p>	<p>(1) ア①ICT機器・視聴覚教材を活用した授業を実施 生徒向けアンケート「ICTを用いた授業が実施できている」における生徒肯定率80%以上を維持 (H30-82.9%) ②各教科で繰返し確認テストを実施し、単位取得者の増加を図る。生徒向けアンケート「授業が楽しく分かりやすい」における生徒肯定率70%以上を維持 (H30-81.0%)</p> <p>(2) ア①各種資格取得を奨励し、資格取得生徒の増加を図る。卒業年次の生徒の70%以上の資格取得 (H30-94.0%) ②3級自動車整備士試験受験者、合格者の増加。受験者3名以上、合格者2名以上 (H30-受験者6名 合格者4名)</p> <p>(3) ア①就職希望生徒の応募前職場見学100%を維持 (H30-100%) ②正規就職希望者80%以上、就職内定率90%以上 (H30-正規就職希望者93.3% 就職内定率100%) ③将来のキャリアを見通した進学の実現。進学志望生徒の合格率100%を維持 (H30-100%)</p>	<p>(1) ア①生徒向けアンケート「ICTを用いた授業が実施できている」における肯定率は80%以上を維持。今年度タブレット2台追加購入、更にハード面の整備を図りたい。(R01年度83.8%)(○) ②「授業が楽しくわかりやすい」における肯定率70%以上を維持。(R01年度81.8%)(○)</p> <p>(2) ア①卒業年次の生徒の70%以上の資格取得 (R01年度100%)(◎) ②3級自動車整備士試験受験者、合格者の増加 R01年度受験者3名、合格者3名</p> <p>(3) ア①就職希望生徒の応募前職場見学 (R01年度100%)(◎) ②正規就職希望者 (R01年度100%)(◎) 就職内定率 (R01年度100%)(◎) ③R01年度進学希望者なし</p>
2 周囲から尊敬される社会人を育てる	<p>(1)授業規律の確立 ア 組織的な指導体制を確立し、良好な環境と授業規律の確立 イ 生徒が主体的に授業に参加し集中して授業に取り組む姿勢を育成</p> <p>(2)協調性・社会性の育成 ア 学校生活の魅力を高め、集団生活への参加を促進</p>	<p>(1) ア①全教職員による生活指導体制を確立し、指導事例に即応し、良好な学習環境を維持する。 ②規範意識、社会性育成のための講座、ICT機器の正しい利用方法、情報活用能力等の指導機会を適宜設け、主体的に社会人としてのマナーを身に付けさせる。 ③高校生活支援カードを活用し、家庭および中学校・外部機関と連携を進め、きめ細かい支援を充実させる。 イ 授業中に発表や話し合いの機会を多くする。</p> <p>(2) ア①部活動を活性化、注目される成果をあげ、生徒の活動参加を促す。 ②秋季発表大会などの成果発表に積極的に参加し、生徒の能力を引き出す。</p>	<p>(1) ア①授業規律を見直し、落ち着いた雰囲気のある学校づくりを行う。生徒向けアンケート「先生は責任を持って授業やその他の仕事に当たっている」における生徒肯定率5%向上を目標とし、平成31年度には80%以上とする。(H30-77.5%) ②欠席の多い生徒(年間30日以上)、中退者の減少 ・欠席の多い生徒15名以下 (H30-13名) ・年間退学者7名以内を目標 (H30-7名) ・懲戒件数5件以下を維持 (H30-3件) ③中学校・外部機関との連携を強化し、中高連絡会参加・学校訪問20校以上実施を維持、本校の教育内容を周知 (H30-35校) イ①アクティブ・ラーニングへの取組み。生徒向けアンケート「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」における生徒肯定率60%以上を維持 (H30-54.8%)</p> <p>(2) ア①部活動に参加する生徒を増加し、活動を支援・定通実業総体出場を目標とする。 ②秋季発表大会の生活体験発表、舞台発表、展示発表への参加維持 (H30-生活体験発表0名、舞台発表0件、展示発表4名)</p>	<p>(1) ア①生徒向けアンケート「先生は責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」における肯定率は14.4%向上し、91.9%となった。令和2年度は90%以上の維持を目標とする。(◎) ②欠席の多い生徒(年間30日以上)、中退者の減少 ・30日以上欠席(R01-13名)(△) ・退学者(R01-7名)(○) ・懲戒件数(R01-14件)(△) 授業規律等の見直し実施にあたり、指導が年度前半に集中した。時間の経過とともに授業規律が守られて落ち着いた状況となっている。 ③中学校・外部機関との連携、中高連絡会・学校訪問20校以上を維持。(R01-30校)(○) 学校訪問等により、本校の特色や指導・支援体制などの理解をより深めたい。 イ①ア生徒向けアンケート「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」における肯定率は60%以上を維持。(R01-63.1%)(○) 教科の特色があるためすべての授業において実現できていない。学校生活を通して、生徒が活躍できる場を創出できるよう取り組みたい。</p> <p>(2) ア①部活動加入生徒が激減しているため、運動部は活動実績なし。(△) 写真部、自動車部の活動は継続。(○) ②生徒秋季発表大会に参加 ・舞台発表：軽音楽部(教育振興会奨励賞) ・展示発表：写真部3名(大阪府知事賞)(◎)</p>

## 府立茨木工科高等学校 定時制の課程

<p>3 誇りをもてる学校づくり</p>	<p>(1) 地域連携を進め、学校への高い評価を獲得 ア 生徒による地域活動の実施、公開講座の実施</p> <p>(2) 学校の取組みを広報 ア 地域での広報を積極的に展開</p> <p>(3) 優れた教育環境の提供 ア 生徒のニーズに合致した特色ある教育課程と優れた指導体制づくり イ 安全安心な学校づくり</p>	<p>(1) ア①生徒による学校周辺巡回清掃等の地域連携活動を実施する。 ②夏休み工作教室を、希望があれば出張教室にするなど拡大・充実する。 ③周辺地域公共機関等への実習作品の寄贈を継続する。</p> <p>(2) ア①学校行事を、保護者・地域に公開し、広報を実施する。 ②保護者・生徒のニーズに合致した学校ホームページの改善</p> <p>(3) ア①工業系科目の充実を図り、生徒が意欲を持って取り組める教育課程の再編成を進める。 ②授業公開、研究授業参加、専門研修派遣を実施し、授業力の向上と、指導内容の刷新を図り、優れた学習環境を実現する。 ③系列会議で生徒状況の把握、授業の工夫の交流などを進める。 イ①防犯防災訓練、交通安全教育及び研修の実施 ②安全点検の実施</p>	<p>(1) ア①地域連携活動を年間通じて実施。(年間3回以上) 生徒向けアンケート「地域や保護者とかかわる機会がある」における生徒肯定率 65%以上 (H30-63.4%) ②地域の小学生対象の出張工作教室を実施 参加者数延べ20名以上 (H30-29名) ③地域機関への作品寄贈3件以上を維持 (H30-6件)</p> <p>(2) ア①体育祭、文化祭等、学校行事への保護者などの参加者数延べ50名以上 (H30-54名) ・保護者向けアンケート「授業参観など学校行事に参加した」における保護者肯定率10%向上を目標とし、H31年度には60%以上とする。(H30-53.3%) ②HP更新月2回以上、教員・校長ブログでの情報発信 (H30-50回以上)</p> <p>(3) ア①教育課程の見直し、再編成。生徒向けアンケート「本校には他校にない特徴がある」における生徒肯定率80%以上 (H30-85.7%) ②授業公開の実施、研修への派遣を行い、H30年度の延べ10名を維持 ③若手教員を中心とした研究授業を年2回以上実施 (H30-3回) ・公開研究授業実施 生徒向けアンケート「教え方に工夫をしている先生が多い」における生徒肯定率80%以上を維持 (H30-73.8%) イ①年3回の生徒向け訓練、講習の実施及び心肺蘇生法教員研修の実技実習の実施 ・生徒向けアンケート「災害時の行動について知らされている」における生徒肯定率80%以上 (H30-75.6%) ②機械・自動車工場の年度内2回の安全点検及び産業医を伴った巡回点検を実施、安全な学習環境を維持 H30-2回 産業医巡回実施)</p>	<p>(1) ア①生徒アンケート「地域や保護者とかかわる機会がある」における肯定率は6%向上。(R01-69.4%) (○) ②教員による地域の小学生対象の「夏休み工作教室」を開催。(R01-参加者数26名) (◎) ③茨木市保育幼稚園総務課を通じ、作品(木製ベンチ15台)を 幼稚園10園に寄贈。(R01-10件) (◎)</p> <p>(2) ア①体育祭、授業参観、文化祭等の学校行事来校者60名(○) ・保護者アンケート「授業参観など学校行事に参加した」における肯定率向上。(R01-62.5%) (◎) ②教員・准校長ブログを通じて学校や生徒の様子の情報発信を行った。(R01-78回更新) (◎)</p> <p>(3) ア①生徒アンケート「本校には他校にない特色がある」における肯定率は、10.9%減少。次年度80%を目標とし、本校で学ぶ意義をしっかりと定着させたい。(R01-67.5%) (△) ②授業公開週間を年間計画に位置付け、教員相互授業見学を促進した。各種研修への積極的な参加を呼び掛け、延べ30名以上の参加を維持している。(◎) ③経験年数の少ない教員による研究授業を1回実施(△) 生徒向けアンケート「教え方に工夫をしている先生が多い」における肯定率は5.1%向上したが、目標に向けて次年度も授業改善に努める。(R01-78.9%) (△) イ①生徒向け訓練、講習を年3回実施。(○) 生徒向けアンケート「災害時の行動について知らされている」における肯定率10.9%向上。生徒への周知が常態化している。(R01-86.5%) (◎) ②機械・自動車工場の年度内2回の安全点検及び産業医を伴った巡回点検を実施。次年度も安全で安心な学習環境を維持したい。(○)</p>
--------------------------	--	---	--	---